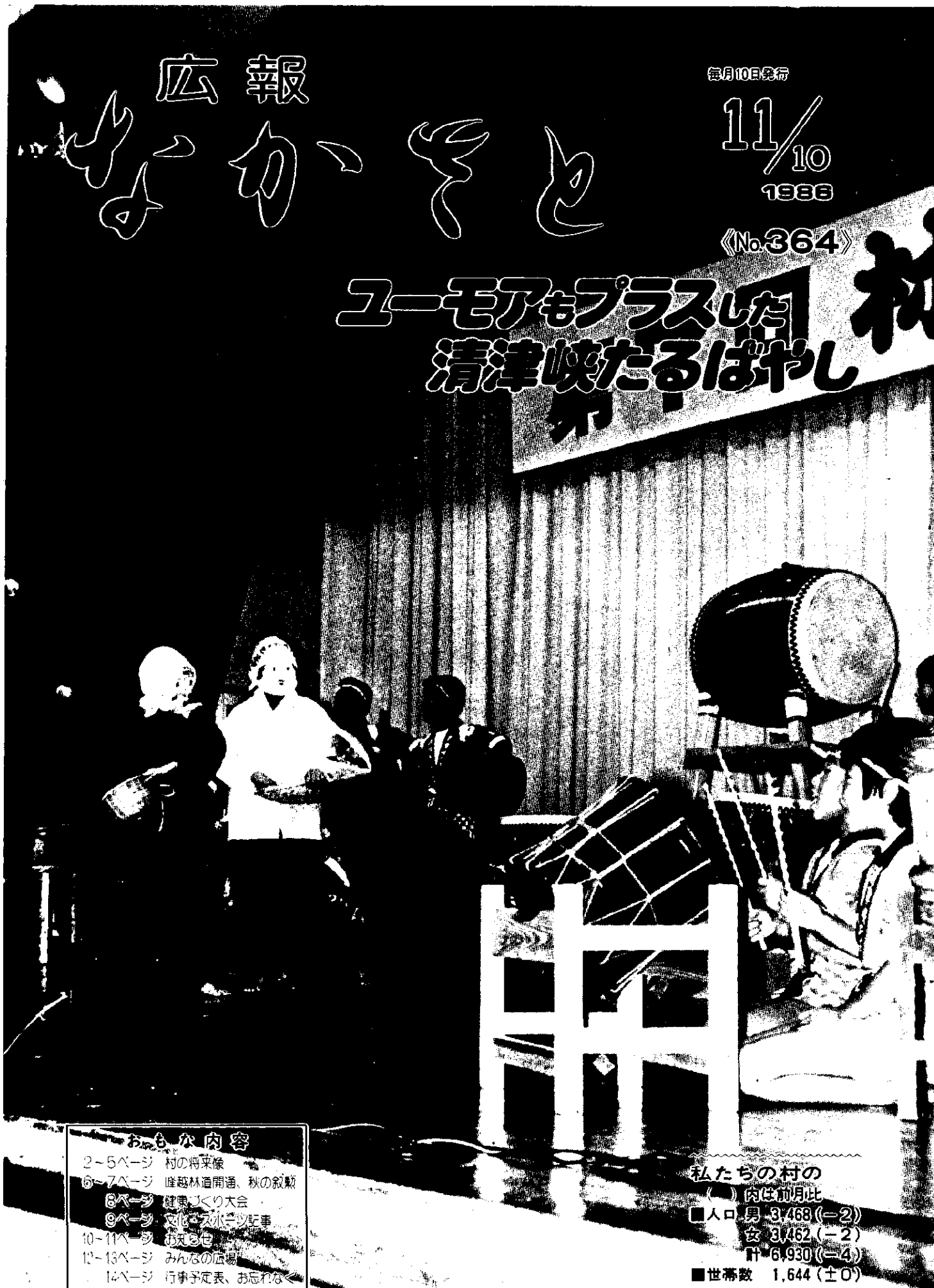


ユーモアもプラスした
清津峡たるばやし



おもな内容
2-5ページ 村の将来像
6-7ページ 雄越林道開通、秋の叙景
8ページ 健康づくり大会
9ページ 文化・スポーツ行事
10-11ページ お楽しみ
12-13ページ みんなの広場
14ページ 行事予定表、お忘れなく

私たちの村の
（ ）内は前月比
■人口 男 3,468(=2)
女 3,462(=2)
計 6,930(=4)
■世帯数 1,644(±0)

行事予定表

11月11日～12月10日

11(火)	インフルエンザ(右参照)
13(木)	老人芸能大会(総合センター 10:00～) インフルエンザ(右参照)
14(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00～16:00) ヘルシー教室(右参照)
15(土)	農地転用許可申請〆切
16(日)	村民バスケットボール大会(P11参照) 休日救急医(至誠堂医院 ☎52-3276)
17(月)	インフルエンザ(右参照)
19(水)	インフルエンザ(右参照)
20(木)	飲酒運転追放の日 農家相談日(農業委員会) 精神衛生相談日(P10参照)
21(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00～16:00) 妊婦・母親学級(右参照)
23(日)	村民バレーボール大会(P11参照) 休日救急医(中央病院 ☎57-3018)
24(月)	休日救急医(池田医院 ☎52-2581)
25(火)	インフルエンザ(右参照)
27(木)	へき地保育所開所式 インフルエンザ(右参照)
28(金)	心配ごと・行政相談日(老人福祉センター 13:00～16:00)
30(日)	休日救急医(山口医院 ☎52-2174)
1(月)	交通安全呼びかけデー 交通事故移動相談所(十日町市役所 10:00～15:00) インフルエンザ(右参照)
5(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00～16:00) 認可保育所説明会(P11参照)
7(日)	休日救急医(上村病院 ☎63-2111)
9(火)	青色申告説明会(総合センター 10:00～12:00)
10(水)	交通安全家庭の日

※変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

第二次世界大戦が始まりそれまでの倉俣村消防組は、倉俣村警防団と改められました。昭和十五年四月、重地の同級生六人で徴兵検査を受けた記念に、それまで無かった分団旗を十三円で購入し村に寄付しました。そのころは、分団旗をもって分団はなく、秋の消防演習では、他の分団の注目を集めました。警防団は、空襲に備えて防空演習を行いました。ラッパや半鐘の音を合図に、電気を消したり、村中の見回りなどをしたものです。当時の生活ぶりからは今日の生活は想像もつきませんでした。



重地 桑原 清さん

みなさん
お忘れなく



■妊婦検診

11月21日 13:30～14:00/上村病院

■母親学級

11月21日 8:30～9:00/保健センター/妊娠中の栄養、家族計画

■インフルエンザ

〔第2回目〕11月19日 14:00～14:40/倉俣生活改善センター
/倉俣保育所児童

15:00～15:30/貝野保育所
/貝野保育所児童

〔第1回目〕11月11日 14:00～14:40/南保育所/南保育所児童
14:50～15:30/中里保育所
/中里保育所児童

〔第2回目〕11月25日 14:00～14:40/南保育所
14:50～15:30/中里保育所児童

〔第1回目〕11月13日 14:10～14:40/小出集落センター
清津峡保育所児童

〔第2回目〕11月27日 14:10～14:40/小出集落センター
清津峡保育所児童

〔第1回目〕11月17日 13:30～14:30/保健センター/未接種者
〔第2回目〕12月1日 13:30～14:30/保健センター/未接種者

■ヘルシー教室

11月14日 9:00～/保健センター/対象者に通知

■精神衛生相談(詳しくは10ページ参照)

編集後記

★七ツ釜に温泉を。と一世一代の男のロマンに挑む桑原長重さんとその奥さん自分の生涯で後生に爪跡を残したいという桑原さんの話からは、燃える男の力強さと気力を感じます。生れ育った田代のためにという桑原さんの愛郷心と行動力を見習いたいものです。★清津峡に陶芸家に移り住んできました。清津峡焼きとして売り出したいという高野さんは、いま燃えている。清津峡焼きが特産物になるようみんなで応援しましょう。

今月の表紙



Over Drive



村内の三中学校が統合し、中里中学校が開校して早や二年が過ぎようとしています。今回は、当村の次代を担う中学生から、克雪、農業、商業、工業、観光の五テーマについて将来像を考えていただきますのでご覧ください。

こんな村にわたしたちのプラン



POINT 1 雪を生きし世界一の村に 克雪面

わたしたちは、中里村の雪について考えてみました。今の現状を考えますと、雪

がたふさん降って、消雪パイプだけでは間に合いません。その上、流雪溝が狭くて水があふれてしまっています。それだけならまだいいですが、道路に水があふれて川みたいになっているのに雪を捨てて人がいます。雪を捨てると水かさが増えもつと水があふれてしまっています。また、道路の近くの家が屋根の雪降ろしのとき、雪を道路に落とすため道が、一方通行になり交通渋滞の原因になったりすることがあります。そうなりますと歩行者は

大変です。車は歩行者に道路にたまった水をかけることにもなります。道路と流雪溝が広く、アーケードや歩道があればなあ……と思います。これが現状です。はっきりいって雪が降るのが一番悪いのです。雪降ろしの転落事故や雪崩、ブルドーザーやロータリー除雪機械に巻き込まれた人など、ひと冬に何人も人が命をおとしています。わたしたちはこんな中里村の雪を克服し住み良い村にするために意見を出し合いました。

高ハ山を崩して雪雲が通り過ぎ雪が降らない様にして、雪が降りた人もいますが、そこまですなくても住み良い村はつくれます。わたしたちの意見をまとめて、まず実行する事は、道路を広げ流雪溝を大きく安全にし道路から家を五メートル離し歩道にアーケードを付けるということです。そうすれば、村の中心部は交通の便が良くなり何かと便利になります。次に、中心部以外の地域をまとめ、無雪道路を増やし交通の便を良くします。また、事故を防ぐため雪崩危険地帯に大型の雪崩止めを多数取り付け災害を少なくします。

今まで、雪を悪い事にばかり考えてきましたが、ここはスキー場など雪を使う事なら考え方によっては、世界一の場所なのです。それを忘れてはいけないと思います。



新座市の子どもたちと雪原で交流



村山重保さん (田沢)

構想を
拝見して

村に残れる環境を

中学生の構想を読み、まず感じた事は自分が中学生のころと比べ視野が広くそして現実的だという事です。どの分野をとっても、いたずらに夢を描くのではなく随分と研究がなされ、努力次第で実現できるのではないかと考えています。それでは自分を含め大人たちはどうだろう。村が良くなればいい、そうは思っていてもし生けぬきに考えた事はあるだろうか。道路一本にしても必要な事は分っているがその前に政治がこのの、用地がこうのと、考えが傍流に流される傾向にあるように思う。一日一日を生きていく事の難しさの中で、十年、二十年先を考えるのは決して容易な事では無いにしても、村の将来を託す中学生が、一人でも多くこの村に残れる環境

POINT 2 四季折々の観光へ 観光面

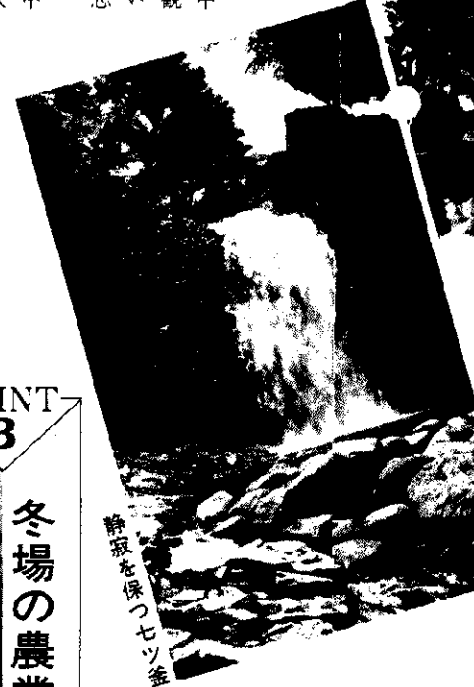
今の中里村の観光についてこう思います。まず、中里村の人たちが村の観光についてもつと関心をもつことが大切だと思えます。そうしなければ、これから十年二十年たっても進歩はないと思います。

わたしたちがいま観光について思っていることは、次のようなことです。

はじめは春です。春には山菜が出ます。それを利用してツアーを企画したらいいと思います。

次は夏です。中里村は比較的涼しいので、その気候を利用してキャンプ場を作ったりしたらいいと思います。

次は秋です。秋は稲が実ります。そこで、その稲を刈ったことのない人たちに刈ってもらう、稲刈りツアー



静寂を保つセツ金

POINT 3 冬場の農業の研究所を 農業面

この中里村の農業をよりよくするために、わたしたちは、次のようなことを考えました。

まず、中里村は自然は豊かですが、広く大きい田畑を作るほどの土地がありません。そこでまず、土地を開拓することが大切だと思えました。しかし、小松原のように山をくずして土地を作ってしまったのでは、中里村の豊かな自然がこわされて、村の大切な緑が失われてしまいます。だから

家や村の人々を、一つの集落にまとめ、だれも住まなくなった集落をきれいに開拓して、そこに広くて大きい田畑を作って農業をしたらよいのではないのでしょうか。それに、いま現在日本では、極くわずしか作られていない小麦や大豆などをその開拓した土地で、自給自足の足しになるくらいに作れないでしょうか。もし、このような形で農業をしていって、仕事が大変で



日本一の生産量を誇るドイツズラン

どうすることもできなくなったら、水くれや肥料をやってくれたりするお手伝いロボットを作り出せばいいのではないのでしょうか。今の日本の科学技術では可能なことだと思います。なぜかというと、現在そういったようなお茶運びロボットとかいうお手伝いロボットなどができているからです。絶対に無理なことではないと思います。それにこの中里村は、冬場、ものすごい雪におおわれます。そうすると農業を専門的に行っている専業農家の人々は、仕事場を失いどうしても出稼ぎに行かなくなってしまう。そういうのが村の大きな問題点の一つだと思えます。そこで、冬場、家の近くなどにビニールハウスをたてて作物を作ってみたり、家の中でも温室栽培を行ってみたらどうでしょうか。そして、寒くても十分に育つような野菜を作るために研究所をつくって研究を進め新しい品種の野菜を作ればよいのです。このようなことを実施すればこれからの中里村に大きな影響を与えてくれるのではないのでしょうか。

をつくってやる事が大人の使命ではないか、そしてそれが結果的に自分自身の向上につながるのではないだろうか。

この企画に参画させてもらい大きな勉強をしたと思います。



井ノ川 平八さん
(山崎)

大胆な発想の実現を

厳しい経済情勢の中で、大小を問わず経営者たちは、自分の経営のみにとらわれ、つい村の展望や未来像を熟考する機会を得なかったように思います。

中学生の発想を読んで感じたことは、われわれ一般村民と同等の知恵と認識があることに驚きました。

中学生たちのこの大胆な発想をそれこそ村民一体となり、早急に実現していくことこそ、この未来の青年たちに豊かな明るい中里村が約束されるのではないのでしょうか。

品数を増し楽しめる商店街を 商業面

POINT 4

わたしたちは、中里村の商業について考えてみました。長岡市、十日町市に比べてわたしたちの村はどうでしょうか。長岡市、十日町には大型店舗もあるし、専門店も多い。品数も多いし、新鮮な物も多い。それに対して中里村は、ちよつとそういうものに欠けるような気がします。

そういった現状をふまえて、次のように考えてみました。

まず第一に、道路だという結論に達しました。東京からこの村に、一番近い国道三五号線をもっと通リやすくして、いつでもどんなときでも、行き来できるようにしてほしいと思います。そして、東京などの新しい品物をより早く、この村にとり入れられるように、



魅力ある商店街へ



実績伸ばす進出企業

進んだ道路を建設してほしいというのがみんなの意見です。

第二に、商店のことにについて考えてみました。まず品数を増やすためにいろいろな物の専門店をつくったほうがいいと思います。たとえば、スポーツ用品店やファーストフード店など、みんなが楽しめるような、商店ができたらいと思ひます。できれば大型店舗から品物を取り寄せ、品数を増やしたり、いつでも新鮮なものを置いたら、この村はもっとよくなると思います。すなわち、この村に、全部の商品が、扱えることが理想だと思っています。そうな

れば、村の経済活動も活発になり、出稼ぎに行く人が少なくなり、村からでていく人も少なくなると考えました。

した。最後に、やはり人物資が早く大量に移動できるように、道路整備を早くしてほしいと思います。

POINT 5

自然を壊さない工場を 工業面

現在、この中里村にある主な工場は新調計器、新デシ、保坂製作所などです。考えて見て、初めて大きな工場の数が少ないのが分かります。わたしたちは「ほとんど工場らしい工場がないんだなあ」と驚きました。

しかし、中里村に工業関係が発展する必要があるの

でしょうか。工場がいつぱいできると中里村で一番誇れる自然が壊されるのではないかと心配です。できれば大きな工場はできない方がいいかも知れません。

しかし、中里村には働く場所が少ないので工場を作るのはやむを得ないと思います。そうすれば働く場

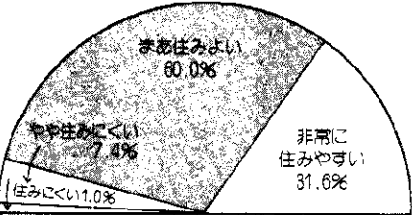
所も増えて冬の出稼ぎも減らすことができます。ですからこの中里村に工業が発展する必要があると思ひます。そのためには、まず道路が悪いということは、作った品物をすぐ日本の流通中心点である関東地方に運べないという短所があります。だから道路整備と共に十二時の整備などをする必要があると思ひます。冬の雪も障害になるので十二時に新たなトンネルをつくれば良いとも思ひます。十二時を整備しトンネルをつくれば新調から関東に行くより、よほど近くなるのではないのでしょうか。

次に、工場ができるとしたら自然を壊さないような工場を中里村につくるべきです。例えば、この自然を生かせるような何かがないでしょうか。壊さないで生かせる何か。わたしたちはあまり、考えが生まれませんでした。

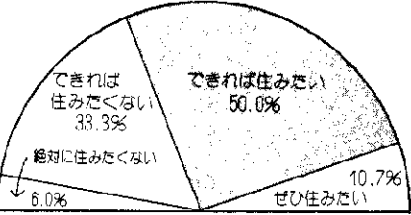
公害の原因にならない工場ができてくれたらと思います。みんなが中里村で働けるような工場などをつくろうではありませんか。

アンケートから

1、中里村を住みやすい村だと思ひますか



2、これから中里村に住みたいですか



住みやすいけど……

中学二年生に、村づくりアンケートを実施いたしました。

左の図表で分かるように、中学二年生のほとんどが中里村を住みやすい村と答えています。また、六割の生徒が将来とも中里村に住みたいと答えています。これはとてもうれしい結果です。住みやすさの一番に上げているのが、緑豊かな自然環境です。逆に村の悪いところとしては、働く場がないことや道路の未整備を上げています。この問題

は、当村にとって更に強力に進めていかなければならない課題です。

将来、村がどんなタイプの村づくりを目指せばいいかという問に対しては、半数の生徒が、「農林業と観光を調和させた村」と答えています。また、興味深いのは「商工業を調和させた村」と答えた生徒が三三割もいることです。これは、米価据え置きなど、農業をとりまく情勢が厳しいのを反映しているのか、大地とともに汗水を流す農業自体

が嫌われているのか知りたところでした。

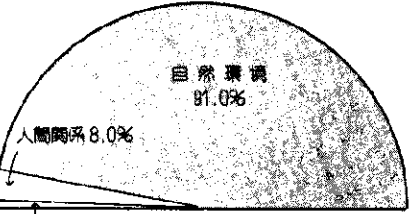
村を住みよくするために、まず一番に「体育、文化施設の充実」、つづいて「道路整備」を上げています。村の発展を図るためにどの産業に力を入れるべきかについては、時代を反映してか、サービス業といわれる第三次産業が一番に上げられています。

すぐにも必要と思われる施設としては、「各種体育施設」が全体の七割を占めています。

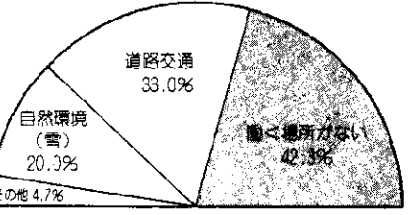


中学生の考えてくれた将来構想の中に、自然環境を損なわない発展を望む声が随所に表われていました。これは、森林伐採等による自然環境破壊が問題になっている昨今の情勢を反映しているものと思ひます。森林の破壊が、メソポタミア文明を滅ぼしたといわれるように「緑の効用」は、計り知れないものがあります。

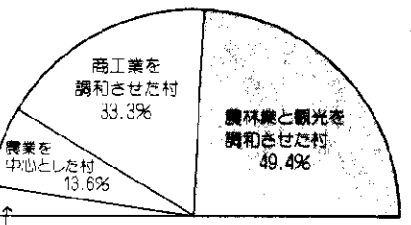
3、中里村のどんなところがよいと思ひますか



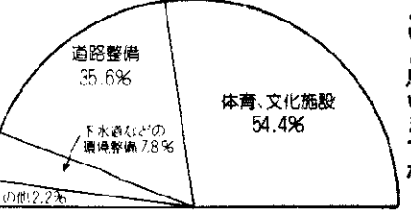
4、中里村のどんなところが悪いと思ひますか



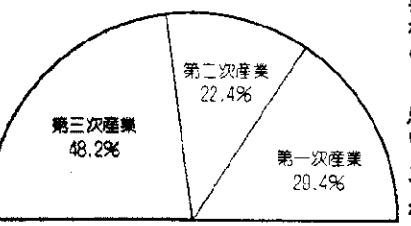
5、村はどんなタイプの村をめざせばよいでしょうか



6、村政を発展させるためにはどこに焦点をおけばよいと思ひますか



7、村政発展のためにはどの産業に力を入れる必要があると思ひますか



好評!

ふるさと宅急便

ふるさと中里の会

ふるさと中里の会も、スタートしてから早2年が過ぎました。現在、会員は59人です。この会をはじめ一番好評なのは、ふるさと宅急便といわれる特産物の発送です。

春は、山ウド、木の芽などの山菜、夏は、チマキや高原野菜、秋は、コシヒカリ、ナメコ、秋野菜、冬は、おそなえやモチが会員の所に発送され、とても喜ばれています。

毎回、特産物と一緒に要望等を聞くハガキを入れています。返ってきたハガキの中は「笹の葉のにおいがとてもよかった」「子どものころを思い出します」といった故郷を懐しく思う言葉が書かれてあります。

ふるさとというものは、いくつになってもよいものです。ふるさと中里村をPRしていただくためにも、大いにこの制度を、親せき、知人にお話してください。

★会費 一カ年 3,000円
〃 (特産物) 〃 20,000円
(詳しくは開発課まで)



山を囲うように走る林道



森林プラス観光の期待が

釜と自然環境保全地域の小松原を結ぶこの一帯の雄大な自然は、観光資源的にも大きな可能性があります。標高千二百メートル地帯には、ブナやダケカンパなどが群生

し美しい景観を見せてくれます。特に、小松原は、高層湿原を代表するものであり、自然度の高い貴重な湿原です。今後この一帯を生かしていくためには、森林資源の有効活用を図るとともに、観光資源として貴重なブナ林等を守っていくこ

とが大切です。

交通規制あり

林道が開通したというものの砂利道の上、交通安全施設が未整備です。このため、当面、一般車輦は通行止めとなりますのでご協力をお願いします。

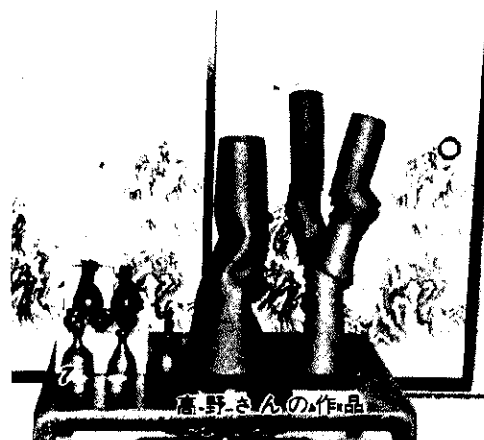


念願の林道開通

清津峡焼き

夢ふくらむ

特産品開発へ



高野さんの作品

清津峡に陶芸家が移り住んできました。この人は佐渡の無名異焼きの修業を11年間積んだ高野秋規さんです。

篠沢のドライブインおもやさんの地下に住まいと作業所を設けた高野さんをたずねました。ろくろに向う高野さんの微妙な手の動きで、土は生きもののようその形を変えていきます。作業所の棚の上には、素焼き前のツボ、きゅうす、湯のみなどがたくさん並べてありました。

高野さんは、この焼物に「清津峡焼き」と命名し販売する計画です。陶芸家としての「窯開き」は来春予定しています。

高野さんは、今までに日本現代工芸展に入選、同新潟会でBSN美術館長賞、県展入選という実績をもっています。

高野さんは、「清津峡焼きを地域の特産物にしたい。余裕ができたら村内を歩いて有望な土を捜したい」と話し、「焼き物について理解を深めていただくために、陶芸教室などを村から企画してほしい」とハッキリしています。こうした意欲的な人をみんなで支援しましょう。



土から美しい造形が

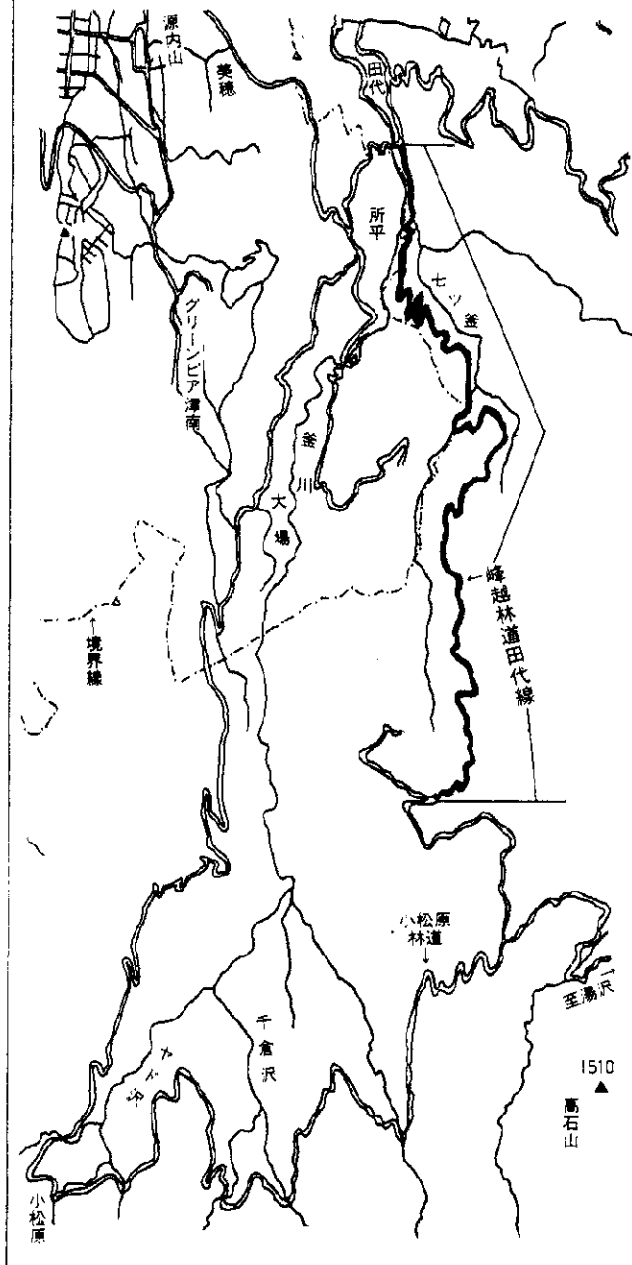
森林浴観光ルートへ

峰越林道田代線開通

峰越林道田代線(全長〇・二二キロ、幅員四メートル)が開通し去る十月二十三日、小松原国有林第九林班地内で開通式が行われました。この林道は、津南町大場と湯沢町三保を結ぶ小松原林道(全長約四十四キロ)と直結しました。峰越林道田代線は、県道中深見越後田沢停車場線を分起点とし、昭和三十四、五年の両年で七ツ釜までを

開設。以来、地元の人たちの奥地開発に対する意欲が高まり、保安林改良事業、団地造林事業などを実施しました。更に昭和五十年から、林分改良事業で四十三分の村行造林に取り組みました。この計画がきっかけとなって当村と湯沢町を結ぶ林道として採択され工事が始まりまりました。総工費五億九千万円をか

けたこの林道は、昭和五十年から五年間は普通林道として開設、昭和五十六年からは峰越林道として引き継がれこの程開通しました。この林道の開通で、千五百一十の山林が生かされることになりました。将来的にはスケールの大きな観光ルートに文部省指定名勝地の七ツ



保健衛生に大きな功績

秋の叙勲

上村病院院長・上村正子氏と元役場保健婦の村山しづな氏は、秋の叙勲で宝冠章を受章されました。昭和十三年に上村医院を開業以来へき地医療に貢献された上村氏には、勲五等宝冠章、役場を退職されてからも保健衛生全般に活躍されている村山しづな氏には、勲七等宝冠章が贈られました。この伝達式が、去る十一月四日、県庁で行われお二人は、金子副知事から勲章を受け取りました。

勲五等宝冠章



上村 上村正子氏 (田中) 病院院長

勲七等宝冠章



元役場保健婦 村山しづな氏 (東田沢)

この度は、わたしにとつて身にあまりの勲章をいただきましてありがたい思いでいっぱいです。これも村長さんをはじめみなさまのおかげと感謝しています。50有余年の長い年月を、フレンチ・ナイチンゲールの精神を目標に、身も心も病める人のために尽くしたいと家庭を忘れて働いてきました。これも本家の人たちや主人の理解と協力があったればこそと感謝しています。

地域の人々の健康を守りたいという一念で10年1日の毎、馬車馬のように生きてきました。先般、叙勲の知らせをいただき、これもみなさまのおかげとありがたく頂戴いたしました。この叙勲を機に、更に地域医療の発展のために尽くしていきたいと考えています。特に、現在問題となっている老人医療に力を入れていきたいと思

村民芸能祭



「トントンカラカラ・トントンカラ」威勢のいい清津峡たるばやしで第七回芸能祭が幕を開けました。今回のたるばやしには、ゴンペーとカラスが登場し、そのゆかいな動きは、会場の人たちの爆笑を誘いました。今年は、久しぶりに田代の神楽も登場し、伝統芸能のすばらしさをまた、唄、踊、詩吟、三味線、大正琴、ハーモニカの熱演は観客に大きな感動を与えました。



▲練習の成果を発表

熱演・力作に感動

芸術祭・芸能祭

一方、公民館では、芸術祭が開かれ、菊、盆栽、書道、生花、写真、絵画、彫刻、などが展示され、訪れた人たちは「ウー見事」「よくまあ」と力作に感心していました。昨年より若干、作品などが少なくなったのが残念でした。年に一度の文化の日をみなさんの参加で盛り上げましょう。

忍耐力を競う

マラソン・ジョギング大会



ヤッター満足感いっぱい

十月十日、体育の日に村民健康マラソン・ジョギング大会が中里中学校で行われました。当日は、秋晴れに恵まれ村内の小学生等二百九十八人が二キロ、三キロ、四

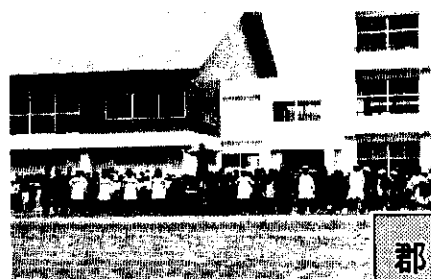
- ★成績(優勝者のみ)
- (男子)小学生
 (低) 井口英詞 田沢小
 (中) 藤ノ木大二 清津峡小
 (高) 奇喜直 倉俣小
- (女子)
 (低) 石沢久美子 田沢小
 (中) 樋口美紀子 田沢小
 (高) 樋口祐佳 田沢小
- ★中学生
 (男) 山田勝之 中里中
 (女) 樋口あけみ 中里中
- ★成年
 (16-30歳) 大島淑喜 教員
 (31-39歳) 大平義弘 教員
 (40歳以上) 村山文夫 田中
 ★婦人
 (26-35歳) 樋口ミヤ 通り山
 (36歳以上) 村山イクヨ 桂



迫力満点 スタートの躍動

実績積み重ねる中里中

都市中学校新人選



声援を送る中里中応援団

- 開校二年目の中里中学校は、スポーツ、文化面に着実に実績を上げています。部活動も先生方の、献身的な指導で各種大会で、好成績を上げ、中魚に中里中ありという印象を他校に与えています。
- 今回は、最近行われた陸上大会、球技大会、クロスカンントリー大会の成績をお知らせいたします。
- ★十日町市、中魚沼郡中学校新人陸上大会(男)
- (100m) ② 保坂泰裕
 (200m) ① 富井貴浩
 (500m) ① 富井貴浩
 (1000m) ① 富井貴浩
 (1500m) ① 富井貴浩
 (2000m) ① 富井貴浩
 (3000m) ① 富井貴浩
 (4000m) ① 富井貴浩
 (5000m) ① 富井貴浩
 (6000m) ① 富井貴浩
 (7000m) ① 富井貴浩
 (8000m) ① 富井貴浩
 (9000m) ① 富井貴浩
 (10000m) ① 富井貴浩
- ★都市クロスカンントリー大会(男)
- 二位 阿部陽一 十日町市
 三位 桑原 洋 本屋敷
- ★都市クロスカンントリー大会(女)
- 二位 阿部陽一 十日町市
 三位 桑原 洋 本屋敷
- ★都市クロスカンントリー大会(男)
- 二位 阿部陽一 十日町市
 三位 桑原 洋 本屋敷
- ★都市クロスカンントリー大会(女)
- 二位 阿部陽一 十日町市
 三位 桑原 洋 本屋敷

健康・考えていますか

健康づくり大会



おやつはね、これだけしかダメヨ。ウン

午前中は、総合センターで式典が行われ百五十人が参加しました。あいさつに立った上村村長は「最近の子どもの、骨が柔かくなっている」といわれている。これも食生活と大いに関係がある。各種団体が協力して健康づくりを更に進めよう」と述べました。

つづいて虫歯のない子表彰、健康家庭表彰、献血功労者表彰、食生活改善推進功労者表彰、住み郷会長表彰が行われました。

午後は、保健センターで「歯の矯正治療について」と題し、新潟大学歯学部矯正学教室の花田晃治教授が講演されました。花田氏は歯の矯正治療をスライドで分かりやすく説明してくれました。下のホールでは、倉俣診療所の後藤先生が、健康相談に応じました。

いい汗流し、つくろう健康をキャッチフレーズに、第九回中里村健康づくり大会が、十月二十五日保健センター、総合センターを会場に行われました。心身ともに、すこやかで生きがいのある生活を営むことは、村民の大きな願いです。健康は、自分に贈れる最大のプレゼントです。自分の健康をじっくりと考えてみましょう。

総合センターの二階では関口陽子さん(エアロビクス・インストラクター)の指導の下で、エアロビクス教室が開かれ、約二十人のお母さんたちがいい汗をかきました。

体験記

広瀬マサエアロビクスを体験してみました。普段の脈はくの一程度の運動量を十五分以上続けること、血



自分の健康は自分で守るという考えを

表彰

- ★食生活改善推進功労者表彰
 高橋 秀(宮中)
- ★献血功労者表彰
 〇五十回
 桑原 秀一 山崎
 〇三十回
 外山新吾 廣羽
 高橋重恭 上山
 樋口秀雄 荒屋
 広田洋一 千清
- ★健康家庭表彰
 保坂直治 外十二世帯
- ★住みよい郷土建設協会中里分会長表彰
 面倉福寿会
 代表 関沢寛平
- ★三歳児虫歯のない子表彰
 山岸尊君 外二十四名
 ★五歳児虫歯のない子表彰
 富井智子ちゃん 外六名



見事なスマッシュ

- 一球一球心をこめて
- 十一月二日、中里中学校体育館で村民卓球大会が行われました。
- この日は、津南中学校の生徒十四人も特別参加し、中里村、津南町中学校親善卓球大会も行われました。中里中学校からも二十六人が参加し、総勢四十人による熱戦が繰り広げられました。一般参加者は、十三人と少なくとも残念でした。
- ★親善卓球大会
- (男子)
 一位 富沢武彦 津南中
 二位 中沢 修 中里中
 三位 高橋昌人 中里中
 三位 桑原 健 津南中
- (女子)
 一位 俣山春香 中里中
 二位 川田直美 中里中
 三位 服部美佳 中里中
 三位 和久井恭子 津南中
- (一般の部)
 一位 村山婦佐江 田沢
 二位 阿部陽一 十日町市
 三位 桑原 洋 本屋敷

お知らせ



へみなさんに関係
あります。見だし
だけでも目を通し
てください。

さとちゃんえび



この作品は山田まゆみさんの協力で
掲載しています。

認可保育所入所説明会 のご案内

★日時 12月5日 午後1時30分～
★場所 中里村総合センター
★入所資格

5歳児 S56.4.2～S57.4.1生まれ
4歳児 S57.4.2～S58.4.1 〃
3歳児 S58.4.2～S59.4.1 〃
未満児 S59.4.2～以降生まれ
保育所は、保育に欠ける幼児の保育
を目的としていますので、次のような
入所基準があります。

1. 母親が外で働いていて同居の親族
が児童の保育ができないと認められ
た場合。
2. 母親が家庭内で働いていて、同居
の親族が児童の保育をできないと認
められた場合。
3. 母親が死亡、行方不明等で母親の
いない家庭であって、同居の親族が
児童の保育をできない場合。
4. 児童の家庭に長期にわたる疾病ま
たは心身障害者がいて、母親が常に
看病に従事し、同居の親族が児童の
保育をできない場合。

村民球技大会の ご案内

■バスケットボール大会
日時 11月16日(日) 午前8時30分～
場所 中里中学校体育館
■バレーボール大会
日時 11月23日(日) 午前8時30分～
場所 中里中学校体育館
申込み〆切 11月18日
詳しくは公民館まで

ストーブの季節 干し物にご用心

毎年石油ストーブによる火災が発生
しています。ストーブの真上の干し物
は絶対にやめましょう。洗濯物は乾く
とはずれやすくなります。"シマッタ"
ではおそすぎます。みんなで火の元
には十分注意しましょう。
お年よりのいる家庭では、2方向に
避難口を設けるようにしてください。
防火の大役 あなたが主役

青色申告決算の 説明会

昭和61年分の青色申告決算説明会が
下記のとおり行われますので、関係者
はお忘れなくおいでください。
★日時 12月9日(火) 10:00～12:00
★場所 中里村総合センター
※随分期間がありますので、カレン
ダーにメモをしておいてください。
詳しくは、十日町税務署まで
(☎52-3181)

農業所得の申告は 11月15日までに

一昨年まで村民税の申告の際、農業
所得を申告していただいていたが
昨年から農業所得のみ事前に申告して
いただいています。今年は、11月15日
までに嘱託員さんまで提出してくださ
いますようお願いいたします。
なお、不明な点は、役場税務課まで
ご連絡ください。(☎63-2511、内37)

増える精神障害 早めに相談を

一日中ブラブラしている、仕事をする
気がないといった家族をもって困って
いる人はいませんか。
ノイローゼなどは、専門医のアドバ
イスを受けることが大切です。人に知
れたら困るといって隠していれば症状
が進むだけです。勇気をもって保健婦
や専門医に相談をしましょう。
★相談日 11月20日(木) 14:00～16:00
★会場 老人福祉センター
※相談ご希望の方は、11月15日までに
保健課まで申込んでください。
勇気をもって相談をしましょう。

地域に役立つ 郵便局の簡保・年金資金

郵便局の簡易保険、郵便年金の保険
料や掛金は、みなさんの将来の保険金
や年金などの支払いに備えて積立てら
れています。この積立金は、「簡保・
年金資金」として自治体に貸し出され
ています。
当村も、昭和61年10月末現在、過疎
対策事業などで8億4,090万円の融資を
受け、村づくりに役立っています。

心配ごと・行政相談日 のご利用を

村では、心配ごと相談日を毎週金曜
日、老人福祉センターで行っています。
また月末の金曜日には、行政相談日も
併設しています。
心配ごと相談は、サラ金、出稼ぎ、

年金、結婚、家庭不和などどんなこと
でもけっこうですからご相談ください。
行政相談は、役所が行っている仕事
に対して、苦情や要望などをおもちの
人、ぜひご相談ください。

★相談日
心配ごと相談 毎週金曜日 老人福
祉センター 13:00～16:00
行政相談 月末の金曜日 老人福祉
センター 13:00～16:00
秘密は絶対に守りますので、お気軽
に相談してください。

あなたの技術を海外で 青年海外協力隊募集

アジア、アフリカ、中近東、中南米
南太平洋地域の国とは、いま国づくり
のために、いろいろな分野で若い人材
を必要としています。
新潟県からは、すでに194人の若者
が参加し、現地で"JOCV"と呼ばれ親
しまれています。
★募集説明会
○11月13日(木) 18:00～21:00
長岡市 長岡文化会館3階
○11月14日(金) 18:00～21:00
新潟市 新潟シルバーホテル
詳しくは、県庁総務部県民広報課外
事係まで(☎0252-85-5511)

住宅金融公庫個人住宅建設資金及び 建売住宅購入資金融資の募集

★受付期間 昭和61年10月20日～11月
28日(金)まで
★選定方法 選考(無抽選)で行います。
★申込場所 公庫業務取次店(村内で
は中里農協、新潟相互中

里支店)
詳しくは、最寄の取次店か住宅金融
公庫北関東支所(☎0272-32-6656)
まで

川にのぼってきたサケマス 絶対に捕ってはいけません

川で産卵・ふ化したサケの稚魚は、
川を下り、北洋の海に行き3～4年で
生まれた川に産卵のために帰ってきます。
このサケマスは、人工ふ化を目的
とする漁業組合だけ県知事からの許可
を受けてサケを捕ることが出来ます。
一般の人たちは絶対に捕ってはいけ
ません。川でサケを見かけましたら、
中魚沼漁協ふ化場まで連絡をお願い
します。(TEL 63-3012)

国道117号線 駒返り地内にトイレ

旅をしていて困るのがトイレです。
このほど、佐藤牛乳店のご好意で同店
が経営するオートスナック脇にトイレ
が建設され、通行車に喜ばれていま
す。みんなで汚さないように利用しま
しょう。

停電のお知らせ

★11月11日(火) 午前8時30分～午前12時
原町、新里
★11月19日(水) 午前8時～午前12時
東田沢、豊里

善意をありがとう

★古切手寄付 江村 奈津子さん
★市之越 富井 寿美雄さん 5,000円

お知らせ

お知らせ

お知らせ

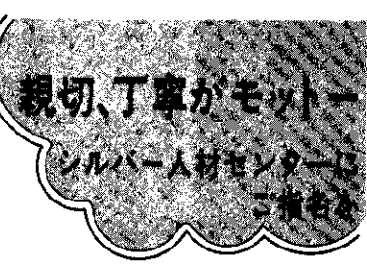
お知らせ



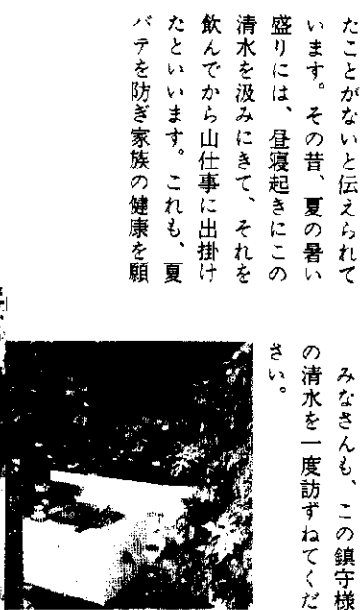
楽しく働いているよ

十日町地域高齢者事業団
が、四月一日にスタートし
てから早や七カ月が過ぎま
した。中里事務所では、当
初計画の四倍近い仕事をこ
なし順調な滑り出しをして
います。
現在、会員は七十四名で
九月末までに六十七件、延
八百七十件の仕事をこなし、
三百七十二万円の受託収入
を得ています。

受託した仕事の中で一番
多いのが、建設業の手伝い
草とりなどの軽作業で、全
体の約六割を占めています。
その他は、大工仕事、障子
張り、病人の介護、グリー
ンビエ津南のキップ売りな
どが多くなっています。
高齢者事業団に
ご指名を
電話一本で仕事を派
遣。親切、丁寧をモットー
に高齢者事業団のお年より
はハッキリしています。まだ
PR不足で、村内の業者の
利用が少ない現状です。そ
うした中でもある建設会社
は「事務所電話一本で済
み、支払いも事務所が一括
してやってくれるので面倒
がない」と喜んでいます。
物は試しです。ぜひ、
高齢者事業団中里事務所
にご一報ください。
(☎63-2511)まで



ペンキ塗りでも何でもOK



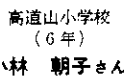
おいしい鎮守様の清水

鎮守様の清水

小さな森の鎮守様の清水
を紹介いたします。この清
水は、通り山公民館から枯
槎原に下りる坂の途中に枯
し左手に入った旧道の脇に
あります。この清水は、鎮
守様の清水といわれ、どん
な日照りの年でも干上がら
ないことがないといえられ
ています。その昔、夏の暑い
盛りには、昼寝起きにこの
清水を汲みにきて、それを
飲んでから山仕事に出掛け
たといいます。これも、夏
バテを防ぎ家族の健康を願
う心からだと思ひます。
二年前この清水に石舟を
作ろうと思ひ立つた通り山
の小巻沢幸作さんは、山崎
の樋口清治さん(通り山出
身)と地主の樋口ヒサさん
に協力を求め、りっぱな清
水場を作りました。
みなさんも、この鎮守様
の清水を一度訪ねてくだ
さい。

★峰越林道田代線開通
十月二十三日、峰越林道
田代線の開通式が行われま
した。この林道は、湯沢町
と津南町を結ぶ小松原林道
と結ばれ、森林活用の拡大
とともに観光開発に期待が
もたれています。(関連記
事六ページ)
★健康づくり大会
十月二十五日、総合セン
ターを主会場に九回目の健
康づくり大会が開かれまし
た。歯の矯正治療や指圧教
室など盛りだくさんの催し
が行われました。(関連記
事八ページ)
★信濃川水力発電再開工事
対策委員会
十月二十四日、対策委員
会が役場で開かれました。
国鉄からは、川名次長等
八名が出席し、工事の進捗
状況や地元からの要望事項
に対する処理状況を説明し
ました。
委員からは、国鉄に対し
現在問題になっている夜間
照明による水稲被害、農地
復活手続、残土処理などの
問題について、早急に対処
するよう要望がありました。

あなたのひろば



友達のお留美子さんを描きました。顔を塗るときはツベの赤い感じを出すのに苦勞をしました。たくさんのの色を混ぜてやりました。うまくいったと思う所は体操着の所で、柔い感じが出せたと思います。



佐智ちゃん 父・樋口修一 通り山
母・美栄子

お姉ちゃんと2人で仲よく遊んでいるんだ。食べ物、ミカンが大好き。最近、お母さんのオッパイがほしいんだ。お母さんは、健康で明るい娘になってほしいんだって。



きつけは……♥レクダンスサークルで知り合いました。
♡お酒を飲む席で海に行く約束をしたのに、
彼ったら忘れるんですよ。それからですね。
第一印象は……♥感じのいい人だなあーと思いました。
♡背が高いことと女性にやさしかったところ。
エピソードは……♥山崎まつりの後、彼女を家に送って
いくとき暴走族の車にはさまれたんですよ。
無理やり止められた所が彼女の家の近くで助
かりました。♡もう必死で家に駆け込みまし
た。
お互いの要望は……♥よくやってくれて言うことありま
せん。♡明寝ぼうとうもう少し子どもの面倒を
みてほしいですね。
村への要望は……♥勤務が不規則な若い人が多いんです
よ、団体に入っていないくても体力づくりので
きる施設がほしいですね。♡冬場の交通です
ね。大雪のときは、バスが当てにならないん
ですよ。

母なる清津川へ
今年もサケが帰る



長旅を終えたオスザク

分校の生活後世に

つてかけがえのない川です。
この清津川に、昭和五十六年十一月、二十年ぶりにサケが帰ってきました。以来、毎年清津川にサケが帰ってくるようになりました。サケが帰ってくるようになったのは、中魚沼漁協が昭和五十一年からサケのふ化放流事業に力を入れているおかげです。

石ケンを粉石ケン（植物性）に変えてみませんか。川をきれいにするために、一人一人の心がけが大切です。

川にのぼってきたサケやマスは、一般の人には捕ることができません。

分校の生活後世に

スザケが、仕かけておいたツツに入りました。中の一匹は、片方の胸ビレが半分ちぎれていて、河口から二百数十*の長旅の苦勞が伝ってきました。池の中でじつとしてゐるサケに「よく帰つてきてくれた」と心の中で話しかけました。

サケやマスの帰るこのきれいな清津川を、更にきれいにし、産卵のできる環境を守りましょう。そ

清津峡溪谷をバックに、清津峡小学校のたるばやしの収録が、九月十五日に行われました。これは木造校舎で学ぶ子どもたちの記録を後世に残そうという十日町ムービークラブ（代表、馬場努）の手で行われています。十日町ムービークラブは、昨年の田所小学校を含め、現在までに十八校の記録映画（十六ミリ）を作成しているプロ

サークル紹介



部長
富井 重行さん
(市之越)

「ナイスショット」わたしたちのクラブは、中里村バスケットボールクラブです。現在、会員は20名で、毎週月水、金曜日の夜、中里中学校体育館で練習しています。

毎年6～7回各種大会に出場し、レベルの向上をめざしています。9月に行われた十日町ナイターリーグにも参加し、2位という好成績を収めました。試合のときは、5分もすればもう汗びっしょりです。しゅん発力と持久力の必要なバスケットボールは、ハードなスポーツですが、やってみると、とても楽しいです。

練習中は、何もかも忘れボールを追いかけています。練習を終えた後の仲間との一杯はとても楽しいです。今までバスケットをやったことのない人でも大丈夫です。みなさんの加入を待っています。連絡先 富井重行 (63-3903)



ちよつとよい自然

〈葉こんの顔〉

葉こんとは、葉印ともいい、葉の落ちたあとに莖や枝に残る印のことです。この葉こんの形をよくみると、いろいろなものを連想させられます。キハダはピエロ、ニセアカシアはコウモリ、ワルミはヒツジ、フジはカモメ、ガマズミはこびと、といったように木によってさまざまです。雑木林などで、いろいろな木の葉こんの顔を見てみるのもおもしろいものです。

盛り上げよう少年野球

公民館では、少年野球の組織づくりを進めています。十一月一日村内の少年野球大会が、中里中グラウンドで開かれました。

現在、倉俣少年野球チーム（監督・斉喜雅基、員野少年野球チーム（監督・南雲道夫）の二チームが組織されています。特に倉俣チームはユニホームも揃い、カッコイイチビツ子選手が必死にボールを追いかけていました。



カーン やった。ヒットだ

並みのチームです。

今回の映画づくりのストーリーは、土倉分校の泉谷先生が担当しています。泉谷先生は「一、分校の主な行事 二、分校と集落との結びつき 三、本校との交流の三つの場面を、四季折々に演出したい。」と意欲満ちたです。

十日町ムービークラブでは、映画収録の際手伝ってくれる人を求めています。希望者は、総務課広報担当まで。



清津峽に定着したたるばやし

交通事故の

- ・飲酒運転検挙者数 9人
 - ・無免許運転違反 5人
 - ・事故発生件数 18件
 - ・死亡事故ゼロ1,118日
- (10月末累計)

情
報

いろいろな木の葉こん



文・絵
大野 滋先生
(田沢小)

人生 往来

南雲	村山	樋口	上原	南雲		吉楽	丸山	高野	宮沢	渡辺	関	高橋	金沢
金次郎	宗平	孫定	時雄	リク		幸雄	文子	よし子	昇	智子	良成	正子	和幸
84	54	67	55	93									
堀之内	東田沢	桂	上山	芋川		上	十日町市	如来寺	十日町市	三条市	東田沢	宮中	十日町市

功妙な手口

訪問販売にご注意を

いくら広報をしても消火器などの訪問販売のトラブルが絶えません。消火器の販売員がきたら「地元の消防団から世話してもらいます」といつて断わりましょう。相手は売るプロですから、要件を聞いて、必要なことがあったらすぐ断わりましょう。